

3年学年だより**凡事徹底**

令和8年度 第6号 金沢市立野田中学校

令和8年7月9日（木）発行

* 個人情報の保護規定の確認に基づいて掲載します。

観能教室振り返り

昨日は、石川県立音楽堂に行って観能教室に参加してきました。

金沢の伝統文化のよさに触れ、能や狂言を味わうことはできましたか？今回の経験と学びを、これからの学校生活によりよく活かしていきましょう。

能も狂言も迫力がありました。1つ1つの動きに力が入っていて、セリフや表情も含め、体全体で表現していると思いました。物語も情景も理解できたし、面白かったです。特に印象に残っているのは狂言で、扇子を使った動きや繰り返し行っていることが重要なシーンだと分かったし、起承転結があって感心しました。

能や狂言は、今の時代でも受け継がれていて大切なものだと思いました。改めてそれぞれの魅力を知れたし、他の作品も見たいです。**1組 上出 芽依さん**

能の羽衣はすこし難しいと思いました。それでも、しっかりと舞を見ることができました。DVDで見たときよりも、動きはゆっくりな上に、しゃべるのではなく、楽器とかけ声が中心であることも分かりました。狂言は、セリフも聞き取りやすかった上に、初めて見ましたが、ストーリーが分かりやすかったです。「あおげー。あおぐぞー」のところがくり返してあるのが印象に残りました。「能や狂言」を見る機会をくださりありがとうございます。また見たいと思いました。**2組 三原 彰人さん**

狂言では、物語があって内容を理解できました。言葉が難しくても聞き取れたことがたくさんありました。箱の中身をちょっとずつ怖がりながらのぞいているところや、砂糖を取り合って食べているところがおもしろかったです。能は、楽器が使われているところや会話をしているところいろんな場面がありました。能は、太鼓や笛などの4つの楽器があったけど、狂言にはひとつも使われていなかったです。

初めて能と狂言を見て、それぞれの良さを知ることができて良かったし、楽しかったです。また、歩き方などの仕草や動作などにも注目して見ることができました。他の物語の能や狂言も見たいです。**3組 川原 依子さん**

狂言は、動作がアクロバティックな感じがして、言葉だけでなく場全体が面白い感じに作られているように思いました。中でも、砂糖の入った容器をとり合っている場面で、そろそろいいかと思ったら、すぐに砂糖を分け合い始めたのが、タイミングが合いすぎていて、面白かったです。能は、狂言とうって違って、少し場面の重さや暗さが場を支配しているように思いました。天人の舞のゆったりとした動きなどから、ひとならざるものの気配が本当にしたように思えて、面白かったです。**4組 濱口 顕さん**

今日は初めて能と狂言を鑑賞した。まず、狂言「附子」は命がなくなるほどの大毒である附子の番をする話だった。二人が附子の中身をみるために必死であおいでいるところがおもしろかった。狂言は、昔からあって話や言葉がわかりにくいイメージがあったけど、中学生でも理解できる楽しくておもしろい話だった。能「羽衣」は天女が羽衣をまとうて舞を舞っているのが印象的だった。また、太鼓、笛、小鼓の楽器による音色がとてもよかった。今日見たものの以外の能や狂言を鑑賞してみたいと思った。**5組 松居 由乃さん**

今回、観能教室で、能の「羽衣」と狂言の「附子」を見てみて、どちらも面白かったです。特に、すべての役者の人の声がとても大きく声の大きさにとても驚きました。また、この声を活かしたたくさん名演技を見ることができ、ずっとわくわくする舞台で楽しかったです。個人的に狂言の附子が分かりやすく、附子という砂糖を食べてしまったときの言い訳が上手でとても面白かったです。大人になってからもう一度行きたいです。**6組 松元 善育さん**

ひまわり祭「団結」団割り

赤団	黄団	青団
2, 5組	3, 4組	1, 6組